



12月保育所だより



早いもので今年ももう残り少なくなってきました。コロナウイルス感染症拡大予防の為保護者の方の観覧はできませんが子どもたちと職員でクリスマス劇遊び会やクリスマス会などの行事を楽しみたいと思っています。年末・年始休みなどもあり、子どもたちも楽しみにしていると思います。寒さが厳しくなってきますが、冬ならではの自然物に触れながら元気に過ごして行きたいと思っています。

12月の行事予定

3日	木	クリスマス劇遊び会予行練習
4日	金	誕生日会
11日	金	クリスマス劇遊び会 (3・4・5歳児)
23日	水	おもちつき
24日	火	クリスマス劇遊び会(2歳児)
25日	金	クリスマスお楽しみ会
28日	月	終わりの会



ひよこ組・クラスだより

歩行のできる元気な子どもたちは毎日のように近隣の公園にお散歩に出かけています。最初の頃は公園に到着しても広い公園なのに保育士の周りから離れずにいた子どもたちも今では自由に歩くことを楽しんでます。毎日のお散歩やバルコニーでの外気浴のためか、体力もつき室内にいても活気があり部屋にあるスポンジのマットを駆け上がったたり高さのある所も後ろ向きでなく前向きに降りることもできるようになりました。ただ、最近の保育士の悩み事・・・遊ぶための場所を登るのは良いのですが玩具棚、ベッドの柵、椅子の上、穴落とし遊びの箱、部屋の中にある“高さのある物”には全て登ってしまうようになってしまいました。そして、用意してある穴落としの穴に物を入れるのではなく柵のちょっとした隙間、棚の向こう側に物を入れたり落としたり。少し剥がれかかったガムテープもむしりたくなってしまいました。動く物はがたがた動かしてみる。何かに何かを打ち付けて音が出れば更にカンカン鳴らす。とりあえず手に持った物は口に入れる。カップのようなおもちゃは口にくわえる。と挙げたらきりがないほどの場面が毎日見られて私達の対策が追いつきません。一人がやってそれを保育士が「あっ、ダメだよ」なんて困って大きな声でリアクションをとってしまうとそれに気づいた数名が同じことをしに集まって来ます。なるべく小さな声でやめさせます。大きい子なら一人が注意されればみんなやらないのですが赤ちゃんはどんなことでも同じことがやりたくなってしまふのですね。実は、何年かひよこ組の子どもたちを見ているとこういった行為は誰も教えていないのに見られる光景です。ご家庭でもきっとありませんか？すべて発達している証拠、子どもたちはこういう探索活動から色々なことを学び取っているのですよね。また、意思表示もはっきりできてお友だちとのおもちゃの取り合いによる引っかき、噛みつきなども見られるようになってきました。大人の解釈では困ったことも成長過程においては通る道なのだと思います。場面場面に合う寄り添い方をしながら成長を見守って行きたいと思っています。

お休みのお知らせ

☆12月29日(火)から1月3日(日)まで保育所はお休みです。

★持ち帰り・サイズの点検・洗濯をお願いします。
(着替え・布団カバー・置き靴・上履き)



又、年明け最初の登所日に忘れずにお持ちください。

★給食食材の発注、できるだけ残菜を減らす為に人数の把握をさせて頂きたいと思っています。年明け最初の登所日を担任にお知らせください。



うさぎ組・クラスだより

「鬼滅の刃」ブームがうさぎ組にもやってきました。歌をうたったり鬼滅ごっこをしたりぬり絵を楽しんだりしています。遊びかるた取りをすることが増えてきて「僕・私読めるから」と途切れ途切れではありますが読み手に回り自分たちだけで遊びをしようとする姿に育ってきています。まだ上手く遊べないので見守りながらルール理解を促しています。取る側はイラストの文言を覚えて、文字を覚えて負けないという気迫十分です。最後は枚数を数え数字のお勉強にも繋がっています。

公園遊びすべり台、ブランコなど公園の広さによって遊ぶ範囲を決め遊べる物は「○」また今度の物は「×」と約束をして保育士の見守りができる範囲で遊んでいます。鉄棒がある所ではぶら下がりの練習を体験する取り組み、東公園では自分のペースで一周マラソンをする取り組みをしています。

室内コーナー遊びではあれもこれも・・・となりがちだった遊び方を「使った物を片付けてから次の遊びにしようね」と徐々にルールを変えています。

食事の際には食具の持ち方を上手持ち→下手持ち→鉛筆持ちができるように、ご飯は左・おかずは真ん中・汁物は右の置き方ができるように、食器に反対の手が添えられるように援助しながら進めています。自分で気づいて「こう?」「合ってる?」など気にしながら食事をしている子もいます。

お当番活動では人前での発表の場として食事前の挨拶・献立の発表をお願いしています。なかなか慣れない人前での発表もお友だちと一緒に大きな声で頑張って言えるようになっていきます。お手伝いはみんな特別なもののように気持ち良くお手伝いをしてもらっています。

今月の世界の“ありがとう”はロシア語です。

Спасибо (スパシーバ)

